

4 国保加入者の状況

(1) 国保被保険者構成

幕別町国民健康保険の被保険者は、令和4年度の年間平均被保険者は5,915人で、加入率は22.8%となっており、年々減少していますが、全国や北海道の加入率よりも高くなっています。

年齢別に見ると、0歳から39歳までが1,413人で全体の23.9%、40歳から64歳までが1,865人で全体の31.5%、65歳から74歳までが2,637人で全体の44.6%となっており、被保険者数はいずれの年代も年々減少しています。

図表3-4-1-1：被保険者構成

	平成30年度		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合	人数(人)	割合	人数(人)	割合	人数(人)	割合
0-39歳	1,704	25.2%	1,625	24.8%	1,515	24.0%	1,456	23.8%	1,413	23.9%
40-64歳	2,173	32.2%	2,104	32.1%	1,968	31.1%	1,919	31.3%	1,865	31.5%
65-74歳	2,881	42.6%	2,819	43.1%	2,836	44.9%	2,750	44.9%	2,637	44.6%
国保加入者数	6,758	100.0%	6,548	100.0%	6,319	100.0%	6,125	100.0%	5,915	100.0%
幕別町_総人口	26,844		26,636		26,443		26,273		25,897	
幕別町_国保加入率	25.2%		24.6%		23.9%		23.3%		22.8%	
国_国保加入率	22.0%		21.3%		21.0%		20.5%		19.7%	
道_国保加入率	21.9%		21.4%		21.1%		20.6%		20.0%	

※加入率は、KDB帳票における年度毎の国保加入者数を住民基本台帳における年毎の人口で除して算出している

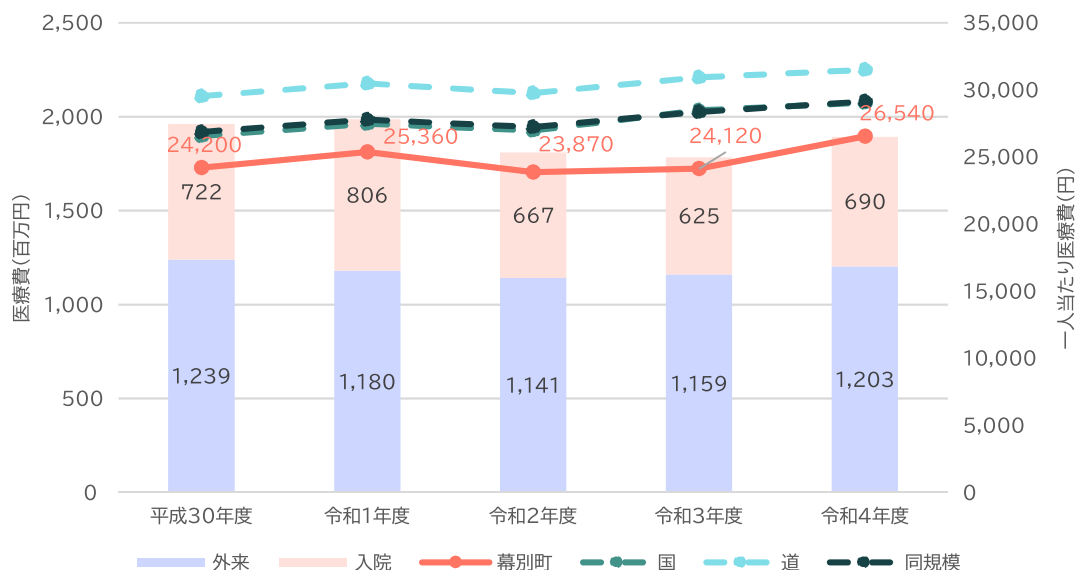
【出典】住民基本台帳 平成31年から令和5年 各年1月1日
KDB帳票 S21_006-被保険者構成 平成30年から令和4年

(2) 総医療費及び一人当たり医療費

令和4年度における総医療費は約19億円で、その内訳を見ると入院が約4割、外来が約6割となっており、また、一月当たりの一人当たり医療費は、令和4年度が26,540円で、全国の29,050円、北海道の31,490円よりも低くなっています。

令和4年度における総医療費及び一人当たり医療費は、新型コロナウイルス感染症による外出自粛等の影響があった令和2年度及び3年度と比較すると入院、外来ともに増加しており、コロナ禍前の生活に戻りつつあることが伺えます。

図表3-4-2-1：総医療費・一人当たりの医療費



		平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	割合	平成30年度からの伸び率
医療費 (円)	総額	1,960,842,300	1,985,188,020	1,808,302,140	1,784,057,590	1,892,910,260	-	-3.5
	入院	722,131,380	805,590,600	667,257,230	624,905,230	690,276,230	36.5%	-4.4
	外来	1,238,710,920	1,179,597,420	1,141,044,910	1,159,152,360	1,202,634,030	63.5%	-2.9
一人当たり医療費 (円)	幕別町	24,200	25,360	23,870	24,120	26,540	-	9.7
	国	26,560	27,470	26,960	28,470	29,050	-	9.4
	道	29,530	30,480	29,750	30,920	31,490	-	6.6
	同規模	26,860	27,770	27,240	28,360	29,130	-	8.5

※一人当たり医療費は、月平均を算出

【出典】 KDB帳票 S21_001-地域の全体像の把握 平成30年度から令和4年度 累計

① 参考：医療サービスの状況

図表3-4-2-2：医療サービスの状況

(千人当たり)	幕別町	国	道	同規模
病院数	0.2	0.3	0.5	0.3
診療所数	2.2	4.0	3.2	3.0
病床数	18.5	59.4	87.8	54.3
医師数	2.4	13.4	13.1	10.7

【出典】 KDB帳票 S21_001-地域の全体像の把握 令和4年度 累計

(3) 一人当たり医療費と医療費の3要素

令和4年度における医療費の3要素（※）を見ると、入院では全国や北海道と比較すると一日当たりの医療費は高くなっている一方で、一件当たりの日数及び受診率が低くなっていることにより、全国や北海道の一人当たりの医療費よりも低くなっていることが分かります。外来では北海道と比較すると、一日当たりの医療費が低く、受診率が高くなっていることにより、一人当たりの医療費が低くなっていることが分かります。

（※）医療費の3要素

- ① 受診率
受診件数の多寡をもとに健康度を判断する目安となります。
- ② 一件当たり日数
症状に対する日数から症状の程度を判断する目安となります。
- ③ 一日当たり医療費
症状に対する医療費から症状の程度を判断する目安となります。

図表3-4-3-1：入院外来別医療費の3要素

入院	幕別町	国	道	同規模
一人当たり医療費（円）	9,680	11,650	13,820	11,780
受診率（件/千人）	14.8	18.8	22.0	19.2
一件当たり日数（日）	12.4	16.0	15.8	16.0
一日当たり医療費（円）	52,870	38,730	39,850	38,290

外来	幕別町	国	道	同規模
一人当たり医療費（円）	16,860	17,400	17,670	17,350
受診率（件/千人）	702.0	709.6	663.0	716.1
一件当たり日数（日）	1.4	1.5	1.4	1.5
一日当たり医療費（円）	17,490	16,500	19,230	16,390

【出典】KDB帳票 S21_001-地域の全体像の把握 令和4年度 累計

(4) 疾病別医療費の構成

① 疾病分類（大分類）別 総医療費

令和4年度における疾病分類別の総医療費を大分類で見ると、「新生物」、「循環器系の疾患」、「筋骨格系及び結合組織の疾患」の順に高く、レセプト一件当たり医療費は「新生物」、「血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害」、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」の順に高い結果となっています。

図表3-4-4-1：疾病分類（大分類）別_医療費（男女合計）

順位	疾病分類（大分類）	医療費（円）				
			一人当たり医療費（円）	割合	受診率	レセプト一件当たり医療費（円）
1位	新生物	383,657,890	64,556	20.4%	347.6	185,701
2位	循環器系の疾患	288,888,360	48,610	15.3%	1239.3	39,224
3位	筋骨格系及び結合組織の疾患	201,949,070	33,981	10.7%	1051.0	32,333
4位	内分泌、栄養及び代謝疾患	173,239,760	29,150	9.2%	1228.3	23,731
5位	消化器系の疾患	120,577,670	20,289	6.4%	648.0	31,311
6位	尿路性器系の疾患	116,213,080	19,555	6.2%	385.0	50,792
7位	呼吸器系の疾患	115,275,570	19,397	6.1%	833.2	23,279
8位	精神及び行動の障害	92,038,660	15,487	4.9%	419.0	36,963
9位	神経系の疾患	91,826,500	15,451	4.9%	389.2	39,700
10位	眼及び付属器の疾患	71,583,990	12,045	3.8%	677.4	17,780
11位	損傷、中毒及びその他の外因の影響	60,757,490	10,223	3.2%	171.6	59,566
12位	皮膚及び皮下組織の疾患	43,938,590	7,393	2.3%	401.1	18,431
13位	感染症及び寄生虫症	27,351,170	4,602	1.5%	202.3	22,755
14位	症状、徴候及び異常臨床検査所見で他に分類されないもの	22,981,090	3,867	1.2%	149.4	25,880
15位	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	15,432,650	2,597	0.8%	20.5	126,497
16位	耳及び乳様突起の疾患	12,066,970	2,030	0.6%	125.0	16,241
17位	先天奇形、変形及び染色体異常	3,802,940	640	0.2%	12.5	51,391
18位	妊娠、分娩及び産じょく	2,340,750	394	0.1%	7.6	52,017
19位	周産期に発生した病態	817,190	138	0.0%	3.0	45,399
-	その他	40,272,660	6,776	2.1%	282.9	23,958
-	総計	1,885,012,050	-	-	-	-

※図表3-4-2-1の入院医療費と総計が異なるのは、図表3-4-2-1においては年齢に関係なく、国保のレセプトを集計しているのに対し、本表では被保険者の生年月日から算出した年齢によって集計対象のレセプトを絞り込んでいるためである。

※KDBシステムにて設定されている疾病分類（大分類）区分うち、特殊目的用コード、傷病及び死亡の外因、健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用、その他（上記以外のもの）を「その他」にまとめている。

【出典】KDB帳票 S23_003-疾病別医療費分析（大分類） 令和4年度 累計

② 疾病分類（中分類）別 入院医療費

令和4年度における疾病分類別の入院医療費を中分類で見ると、「その他の悪性新生物」、「その他の心疾患」、「気管・気管支及び肺の悪性新生物」の順に高く、レセプト一件当たり医療費は「その他の脳血管疾患」、「その他の循環器系の疾患」、「その他の心疾患」の順に高い結果となっています。

図表3-4-4-2：疾病分類（中分類）別_入院医療費_上位20疾病（男女合計）

順位	疾病分類（中分類）	医療費（円）	医療費（円）			
			一人当たり医療費（円）	割合	受診率	レセプト一件当たり医療費（円）
1位	その他の悪性新生物	70,104,220	11,796	10.2%	12.5	947,354
2位	その他の心疾患	42,909,900	7,220	6.2%	6.4	1,129,208
3位	気管、気管支及び肺の悪性新生物	40,728,050	6,853	5.9%	6.7	1,018,201
4位	関節症	34,946,290	5,880	5.1%	6.2	944,494
5位	骨折	29,959,550	5,041	4.3%	5.9	855,987
6位	脳梗塞	28,799,360	4,846	4.2%	6.7	719,984
7位	その他の消化器系の疾患	25,126,730	4,228	3.6%	13.1	322,138
8位	脊椎障害（脊椎症を含む）	22,872,030	3,849	3.3%	4.7	816,858
9位	その他の神経系の疾患	21,973,030	3,697	3.2%	6.2	593,866
10位	虚血性心疾患	19,977,440	3,362	2.9%	3.9	868,584
11位	その他の脳血管疾患	19,684,620	3,312	2.9%	1.5	2,187,180
12位	その他の循環器系の疾患	17,650,360	2,970	2.6%	2.0	1,470,863
13位	腎不全	16,895,820	2,843	2.4%	3.0	938,657
14位	脳内出血	15,900,830	2,676	2.3%	3.9	691,340
15位	その他の呼吸器系の疾患	15,506,810	2,609	2.2%	4.5	574,326
16位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	13,438,310	2,261	1.9%	4.4	516,858
17位	血管性及び詳細不明の認知症	12,701,790	2,137	1.8%	3.4	635,090
18位	その他損傷及びその他外因の影響	12,441,870	2,094	1.8%	3.7	565,540
19位	良性新生物及びその他の新生物	11,290,830	1,900	1.6%	4.2	451,633
20位	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	11,091,440	1,866	1.6%	3.2	583,760

【出典】KDB帳票 S23_004-疾病別医療費分析（中分類） 令和4年度 累計

③ 疾病分類（中分類）別 外来医療費

令和4年度における疾病分類別の外来医療費を中分類で見ると、「糖尿病」、「その他の悪性新生物」、「高血圧」の順で高く、レセプト一件当たり医療費は「腎不全」、「結腸の悪性新生物」、「気管、気管支及び肺の悪性新生物」の順に高い結果となっています。

図表3-4-4-3：疾病分類（中分類）別_外来医療費_上位20疾病（男女合計）

順位	疾病分類（中分類）	医療費（円）	医療費分析			
			一人当たり医療費（円）	割合	受診率	レセプト一件当たり医療費（円）
1位	糖尿病	115,198,410	19,384	9.6%	666.0	29,105
2位	その他の悪性新生物	65,571,780	11,033	5.5%	85.3	129,333
3位	高血圧症	64,085,570	10,783	5.4%	803.5	13,421
4位	腎不全	51,361,120	8,642	4.3%	43.4	199,074
5位	その他の心疾患	49,666,140	8,357	4.2%	225.8	37,009
6位	その他の消化器系の疾患	49,294,700	8,295	4.1%	306.7	27,040
7位	乳房の悪性新生物	43,132,350	7,258	3.6%	46.1	157,417
8位	その他の眼及び付属器の疾患	42,775,900	7,198	3.6%	441.7	16,296
9位	脂質異常症	36,848,730	6,200	3.1%	466.4	13,293
10位	喘息	33,969,120	5,716	2.8%	282.3	20,244
11位	炎症性多発性関節障害	33,262,250	5,597	2.8%	109.9	50,938
12位	その他の神経系の疾患	33,159,120	5,580	2.8%	305.2	18,280
13位	気管、気管支及び肺の悪性新生物	26,524,880	4,463	2.2%	26.1	171,128
14位	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	21,119,090	3,554	1.8%	119.6	29,703
15位	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	20,980,510	3,530	1.8%	127.9	27,606
16位	関節症	20,362,210	3,426	1.7%	276.3	12,401
17位	気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	19,892,280	3,347	1.7%	194.7	17,193
18位	骨の密度及び構造の障害	18,725,950	3,151	1.6%	177.0	17,800
19位	結腸の悪性新生物	17,830,520	3,000	1.5%	15.3	195,940
20位	その他の特殊目的用コード	17,783,040	2,992	1.5%	118.5	25,260

【出典】KDB帳票 S23_004-疾病別医療費分析（中分類） 令和4年度 累計

④ 医療費が高額な疾病

1か月当たり30万円以上のレセプトの件数を見ると、件数ではその他の悪性新生物が10.6%、腎不全10.5%、乳房の悪性新生物5.9%の順で多くなっています。

医療費で見ると、レセプト全体では、その他の悪性新生物が12.3%、腎不全が6.8%、気管・気管支及び肺の悪性新生物が6.3%の順で多くなっています。

高額医療となるレセプト分析では、レセプト件数、費用額ともに、上位の3疾病を生活習慣病や加齢に伴う疾患が占めています。

図表3-4-4-4：疾病分類（中分類）別_1か月当たり30万円以上のレセプトの状況 内訳（上位10疾病）

順位	疾病分類（中分類）	医療費（円）	1か月当たり30万円以上のレセプトの医療費に占める割合	件数（累計）（件）	1か月当たり30万円以上のレセプト件数に占める割合
1位	その他の悪性新生物	109,775,920	12.3%	121	10.6%
2位	腎不全	60,943,990	6.8%	120	10.5%
3位	気管、気管支及び肺の悪性新生物	56,025,060	6.3%	56	4.9%
4位	乳房の悪性新生物	42,540,020	4.8%	67	5.9%
5位	その他の心疾患	41,383,000	4.7%	29	2.5%
6位	関節症	33,832,840	3.8%	30	2.6%
7位	骨折	28,643,220	3.2%	28	2.5%
8位	脳梗塞	27,110,930	3.0%	32	2.8%
9位	その他の消化器系の疾患	25,227,230	2.8%	35	3.1%
10位	結腸の悪性新生物	22,334,650	2.5%	19	1.7%

【出典】KDB帳票 S21_001-地域の全体像の把握 令和4年度 累計
KDB帳票 S21_011-厚生労働省様式（様式1-1） 令和4年6月から令和5年5月

⑤ 入院が長期化する疾病

入院期間が6か月以上となっているレセプトの主病名を見ると、血管性及び詳細不明の認知症、その他の神経系の疾患、脳内出血、その他の内分泌・栄養及び代謝障害、脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群の順になっています。

図表3-4-4-5：疾病分類（中分類）別_6か月以上の入院レセプトの状況 内訳（上位10疾病）

順位	疾病分類（中分類）	医療費（円）	長期入院レセプトが医療費に占める割合	件数（累計）（件）	長期入院レセプトが全件数に占める割合
1位	血管性及び詳細不明の認知症	8,728,750	12.9%	15	13.4%
2位	その他の神経系の疾患	7,565,240	11.2%	14	12.5%
3位	脳内出血	7,416,430	11.0%	12	10.7%
4位	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	6,919,030	10.2%	12	10.7%
5位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	6,795,370	10.1%	11	9.8%
6位	皮膚炎及び湿疹	6,764,000	10.0%	12	10.7%
7位	脳梗塞	4,259,540	6.3%	7	6.3%
8位	その他の呼吸器系の疾患	3,765,820	5.6%	4	3.6%
9位	腰痛症及び坐骨神経痛	3,056,850	4.5%	5	4.5%
10位	気管、気管支及び肺の悪性新生物	2,565,790	3.8%	3	2.7%

【出典】KDB帳票 S21_001-地域の全体像の把握 令和4年度 累計
KDB帳票 S21_012-厚生労働省様式（様式2-1） 令和4年6月から令和5年5月

(5) その他

① 重複服薬

幕別町における令和4年度の重複服薬該当者は、平均で約50人となっています。

重複服薬による影響としましては、急速な高齢化を背景に、薬害有害事象を原因とするふらつきや骨折など、QOL低下を招くおそれがあるとともに、同じ効用の薬剤が複数処方されることにより医療費の増加につながります。

そのため、幕別町では、被保険者の健康の保持・増進と疾病の回復及び適正受診の促進を図るとともに、重複服薬による医療費の抑制につなげることを目的に、次の抽出条件により抽出した被保険者に対し、服薬情報通知書を送付しています。

(※) 重複服薬の抽出条件

- ① 6剤以上の処方がある方、② 14日以上服薬されている方、③ 2医療機関以上の受診がある方、④ 同種同効の薬剤が処方されている方

② 多剤服薬

幕別町における令和4年度が多剤服薬該当者は、平均で約13人となっています。

多剤服薬による影響としましては、重複服薬と同様に急速な高齢化を背景に、薬害有害事象を原因とするふらつきや骨折など、QOL低下を招くおそれがあるとともに、多くの薬剤が処方されることにより医療費の増加につながります。

そのため、幕別町では、薬害有害事象を未然に防止するとともに、多剤服薬による医療費の抑制につなげることを目的に、次の抽出条件により抽出した被保険者に対し、服薬情報通知書を送付しています。

(※) 多剤服薬の抽出条件（重複服薬者は除く。）

- ① 6剤以上の処方がある方、② 14日以上服薬されている方、③ 2医療機関以上の受診がある方、

③ 後発医薬品等

本町では、医療費の適正化に向けた取組として、後発医薬品の普及促進に向けた利用差額通知（処方されている医薬品を後発医薬品に切り替えた場合の軽減額を対象者へ個別にお知らせするもの）事業を実施するとともに、被保険者に対し、リフィル処方箋（※）のメリット（患者負担の軽減や医療費の抑制など）をホームページに掲載し、周知・啓発を行っています。

(※) リフィル処方箋

症状が安定している方に対して、医師が認めた期間・回数に限り、再診を受けずに同じ処方薬を薬局で受け取ることができる処方箋のことです。医療機関を受診する回数が少なくなり、結果として、医療費の抑制効果が期待できます。

5 国保加入者の生活習慣病の状況

(1) 生活習慣病医療費

令和4年度の生活習慣病医療費が総医療費に占める割合は17.8%と、平成30年度と比較すると減少し、全国の割合よりは低いものの北海道の割合よりも高くなっています。

令和4年度の基礎疾患の医療費は平成30年度と比較するといずれの疾病も減少していますが、重症化した生活習慣病のうち、動脈硬化症、脳梗塞、心筋梗塞の医療費は増加しています。

図表3-5-1-1：生活習慣病医療費の平成30年度比較

疾病名	幕別町				国	道	同規模
	平成30年度		令和4年度				
	医療費(円)	割合	医療費(円)	割合	割合	割合	割合
生活習慣病医療費	398,472,300	20.3%	336,291,180	17.8%	18.7%	16.4%	19.1%
基礎疾患	糖尿病	122,209,090	13.4%	115,649,200	11.5%	10.7%	10.1%
	高血圧症	84,334,370		64,702,900			
	脂質異常症	54,814,930		36,884,490			
	高尿酸血症	1,176,760		868,810			
重症化した生活習慣病	動脈硬化症	3,334,470	0.2%	5,152,460	0.3%	0.1%	0.1%
	脳出血	23,780,000	1.2%	16,494,600	0.9%	0.7%	0.6%
	脳梗塞	25,088,530	1.3%	33,299,280	1.8%	1.4%	1.4%
	狭心症	36,521,770	1.9%	16,441,920	0.9%	1.1%	1.1%
	心筋梗塞	8,308,250	0.4%	9,930,190	0.5%	0.3%	0.4%
	慢性腎臓病(透析あり)	38,904,130	2.0%	36,867,330	1.9%	4.4%	2.3%
総額医療費	1,960,842,300		1,892,910,260				

【出典】KDB帳票 S21_001-地域の全体像の把握 平成30年度・令和4年度 累計

(2) 基礎疾患の有病状況

基礎疾患の有病状況は、男性では高血圧症が最も高く20.4%、女性では高血圧症と脂質異常症が同程度で高く約19%、全体では高血圧症が最も高く19.7%となっています。

図表3-5-2-1：基礎疾患の有病状況

疾病名	男性		女性		合計		
	人数(人)	割合	人数(人)	割合	人数(人)	割合	
被保険者数	2,815	-	3,100	-	5,915	-	
基礎疾患	糖尿病	352	12.5%	255	8.2%	607	10.3%
	高血圧症	573	20.4%	595	19.2%	1,168	19.7%
	脂質異常症	481	17.1%	598	19.3%	1,079	18.2%

【出典】KDB帳票 S21_014-厚生労働省様式(様式3-1) 令和5年 5月

(3) 重症化した生活習慣病と基礎疾患の重なり

虚血性心疾患、脳血管疾患、人工透析いずれも、高血圧症との重なりが最も高く、虚血性疾患における有病率は84.3%、脳血管疾患における有病率は70.3%、人工透析における有病率は100%となっています。

図表3-5-3-1：生活習慣病の重篤な疾患患者における基礎疾患の有病状況

疾病名	男性		女性		合計		
	人数（人）	割合	人数（人）	割合	人数（人）	割合	
虚血性心疾患	146	-	108	-	254	-	
基礎疾患	糖尿病	79	54.1%	34	31.5%	113	44.5%
	高血圧症	126	86.3%	88	81.5%	214	84.3%
	脂質異常症	113	77.4%	82	75.9%	195	76.8%

疾病名	男性		女性		合計		
	人数（人）	割合	人数（人）	割合	人数（人）	割合	
脳血管疾患	92	-	53	-	145	-	
基礎疾患	糖尿病	40	43.5%	18	34.0%	58	40.0%
	高血圧症	65	70.7%	37	69.8%	102	70.3%
	脂質異常症	61	66.3%	35	66.0%	96	66.2%

疾病名	男性		女性		合計		
	人数（人）	割合	人数（人）	割合	人数（人）	割合	
人工透析	8	-	3	-	11	-	
基礎疾患	糖尿病	4	50.0%	1	33.3%	5	45.5%
	高血圧症	8	100.0%	3	100.0%	11	100.0%
	脂質異常症	4	50.0%	1	33.3%	5	45.5%

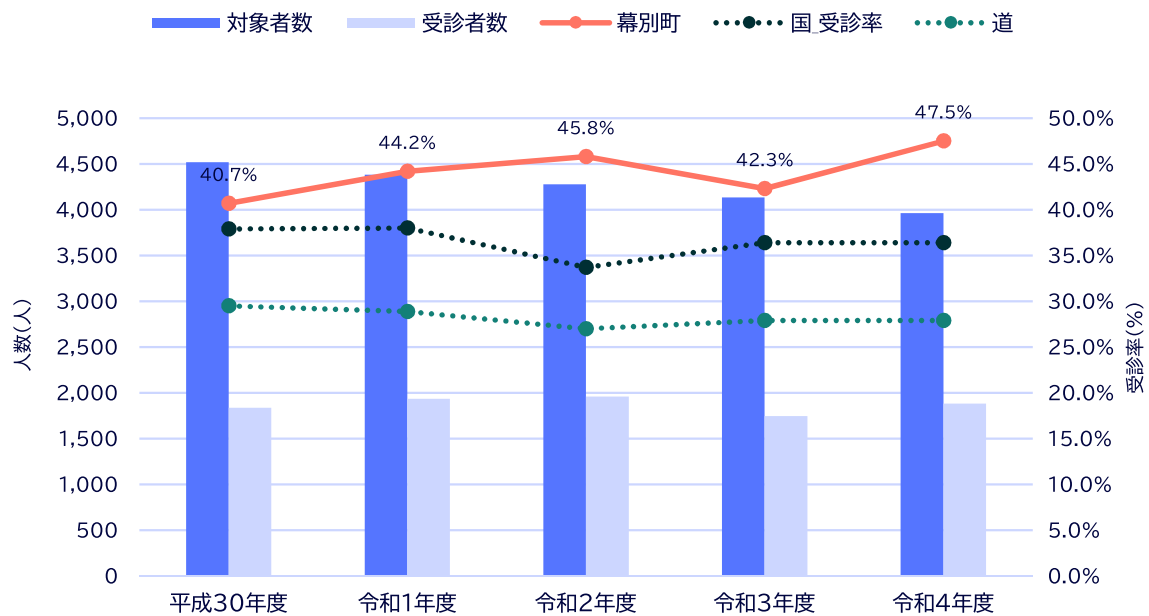
【出典】KDB帳票 S21_018-厚生労働省様式（様式3-5-7） 令和5年 5月

6 特定健診・特定保健指導・生活習慣の状況

(1) 特定健診受診率

幕別町国保における特定健診の受診率は、令和4年度では47.5%と経年的にみて増加していますが、幕別町国民健康保険特定健康診査等実施計画で定める目標値55%には到達していない状況です。年代別受診率では、60歳代と70～74歳の受診率が高いことが分かります。

図表3-6-1-1：特定健診受診率（法定報告値）



	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度と令和4年度の差	
特定健診対象者数 (人)	4,516	4,381	4,275	4,132	3,963	-553	
特定健診受診者数 (人)	1,838	1,936	1,960	1,747	1,881	43	
特定健診受診率	幕別町	40.7%	44.2%	45.8%	42.3%	47.5%	6.8
	国	37.9%	38.0%	33.7%	36.4%	-	-
	道	29.5%	28.9%	27.0%	27.9%	-	-

【出典】厚生労働省 2018年度から2021年度特定健診・特定保健指導の実施状況（保険者別）

図表3-6-1-2：年齢階層別 特定健診受診率

	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳
平成30年度	27.2%	24.4%	27.2%	33.9%	40.7%	46.0%	47.1%
令和1年度	29.4%	27.8%	28.4%	36.0%	44.1%	49.9%	50.9%
令和2年度	30.4%	28.2%	33.8%	35.1%	46.5%	46.9%	54.7%
令和3年度	37.6%	29.1%	27.8%	31.9%	39.8%	44.6%	49.4%
令和4年度	34.5%	32.5%	29.7%	32.6%	44.1%	49.5%	53.5%

※法定報告値は厚生労働省発表によるものであり、KDBデータと登録時期が異なるため値に差がある。

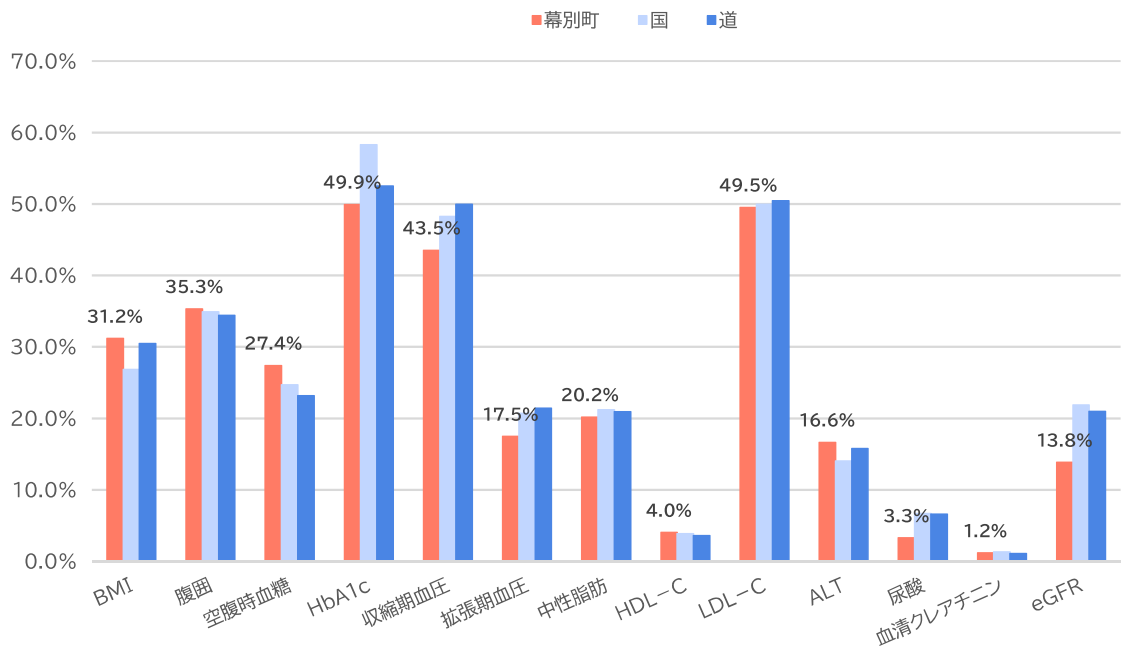
【出典】KDB帳票 S21_008-健診の状況 平成30年度から令和4年 累計

(2) 有所見者の状況

① 有所見者の割合

幕別町の国保特定健診受診者について、健診結果における有所見者の状況を全国及び北海道と比較すると、BMI、腹囲、空腹時血糖、ALTの割合が全国と北海道を上回っており、エネルギーの過剰摂取による肥満が血糖値、肝機能に影響していることが分かります。

図表3-6-2-1：特定健診受診者における有所見者の割合



	BMI	腹囲	空腹時血糖	HbA1c	収縮期血圧	拡張期血圧	中性脂肪	HDL-C	LDL-C	ALT	尿酸	血清クレアチニン	eGFR
幕別町	31.2%	35.3%	27.4%	49.9%	43.5%	17.5%	20.2%	4.0%	49.5%	16.6%	3.3%	1.2%	13.8%
国	26.8%	34.9%	24.7%	58.3%	48.2%	20.7%	21.2%	3.9%	50.0%	14.0%	6.7%	1.3%	21.9%
道	30.5%	34.4%	23.2%	52.5%	50.0%	21.4%	20.9%	3.6%	50.4%	15.8%	6.6%	1.1%	21.0%

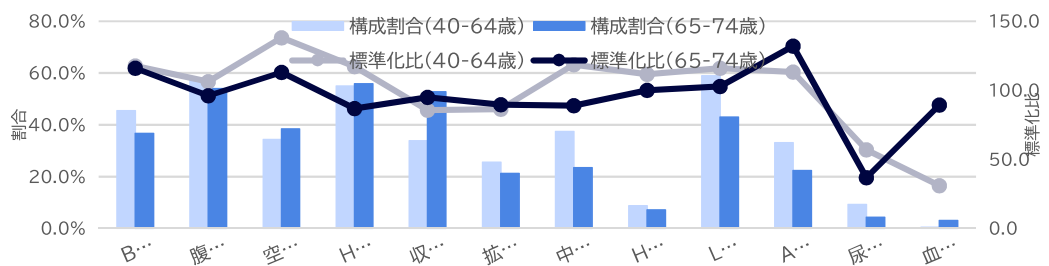
【出典】KDB帳票 S21_024-厚生労働省様式（様式5-2） 令和4年 累計

② 有所見者の性別年代別割合の状況と標準化比

男性の有所見状況は、40歳～64歳ではBMI、腹囲、空腹時血糖、HbA1c、中性脂肪、HDL-C、LDL-C、ALTが国を上回る結果となっています。その中でも空腹時血糖が標準化比138.1と最も高い結果となっています。65歳～74歳ではBMI、空腹時血糖、LDL-C、ALTが全国を上回っており、その中でALTが標準化比132.0と最も高い結果となっています。

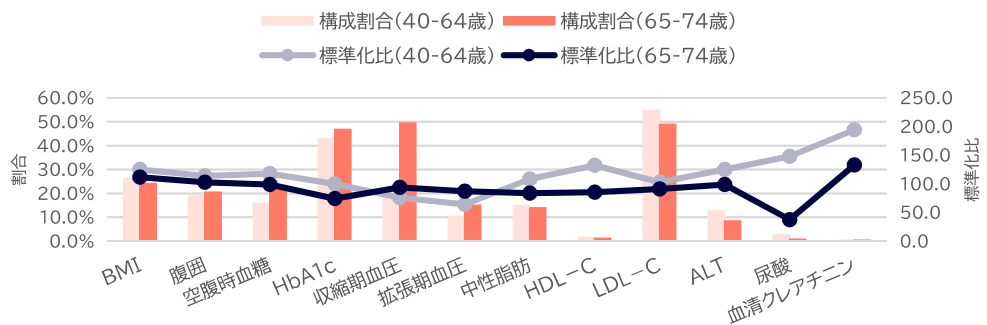
女性の有所見状況は、40歳～64歳ではBMI、腹囲、空腹時血糖、中性脂肪、HDL-C、LDL-C、ALT、尿酸、血清クレアチンが国を上回っており、その中でも血清クレアチンが標準化比194.4と最も高い結果となっています。65歳～74歳ではBMI、腹囲、血清クレアチンが全国を上回っており、血清クレアチンが標準化比132.9と最も高い結果となっています。

図表3-6-2-2：特定健診受診者における年代別有所見者の割合・標準化比_男性



男性		BMI	腹囲	空腹時血糖	HbA1c	収縮期 血圧	拡張期 血圧	中性脂肪	HDL-C	LDL-C	ALT	尿酸	血清クレ アチニン
40- 64歳	構成割合	45.4%	57.8%	34.3%	55.0%	33.9%	25.5%	37.5%	8.8%	59.0%	33.1%	9.2%	0.4%
	標準化比	117.6	106.3	138.1	117.2	85.7	86.3	118.5	111.7	115.9	113.2	56.9	31.0
65- 74歳	構成割合	36.7%	54.0%	38.4%	55.9%	52.7%	21.2%	23.5%	7.1%	43.0%	22.3%	4.3%	3.0%
	標準化比	116.0	96.1	112.9	86.9	94.9	89.5	88.8	100.0	102.7	132.0	36.7	89.3

図表3-6-2-3：特定健診受診者における年代別有所見者の割合・標準化比_女性



女性		BMI	腹囲	空腹時血糖	HbA1c	収縮期 血圧	拡張期 血圧	中性脂肪	HDL-C	LDL-C	ALT	尿酸	血清クレ アチニン
40- 64歳	構成割合	26.4%	19.0%	15.8%	42.8%	21.9%	10.3%	14.8%	1.6%	54.7%	12.5%	2.6%	0.3%
	標準化比	124.9	113.9	117.7	99.6	75.8	64.2	108.3	132.2	102.5	125.2	148.0	194.4
65- 74歳	構成割合	24.2%	20.5%	21.8%	46.8%	49.4%	14.9%	14.0%	1.1%	48.9%	8.4%	0.7%	0.4%
	標準化比	111.7	102.8	99.0	74.4	93.7	87.1	83.4	85.5	90.7	98.6	37.4	132.9

【出典】 KDB帳票 S21_024-厚生労働省様式（様式5-2） 令和4年 累計

(3) メタボリックシンドローム

① メタボ該当者数とメタボ予備群該当者数

メタボ該当者の割合が男性33.8%、女性12.4%と全国・北海道・同規模保険者を上回り、高い数値となっています。また、「メタボ該当者※1」と「メタボ予備群※2」を併せると31.6%となり、健診受診者の約3割がメタボリックシンドロームのリスクを抱えていることが分かります。

※1 メタボ該当者…メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる者であり、腹囲が男性85cm以上、女性90cm以上で、3つの項目（脂質、血圧、血糖）のうち2つに該当する者

※2 メタボ予備群…メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予備群と考えられる者であり、腹囲が男性85cm以上、女性90cm以上で、3つの項目（脂質、血圧、血糖）のうち1つに該当する者

図表3-6-3-1：特定健診受診者におけるメタボ該当者数・メタボ予備群該当者数

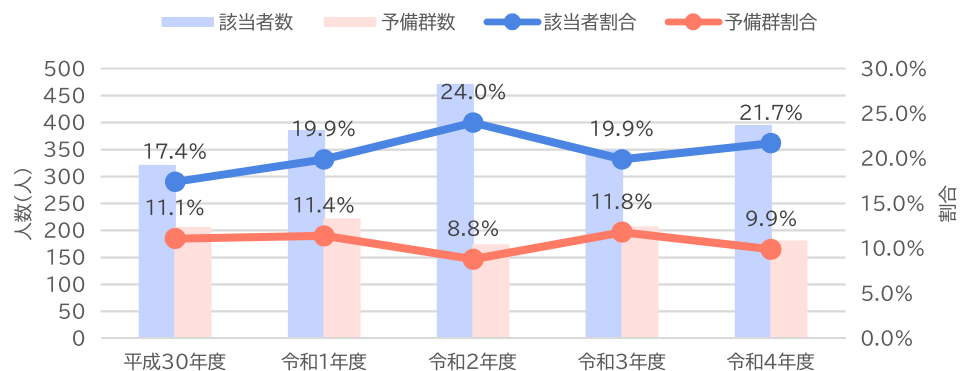
	幕別町		国	道	同規模
	対象者数（人）	割合	割合	割合	割合
メタボ該当者数	394	21.7%	20.6%	20.2%	20.9%
男性	267	33.8%	32.9%	32.9%	32.5%
女性	127	12.4%	11.3%	11.0%	11.8%
メタボ予備群該当者	180	9.9%	11.1%	11.0%	11.3%
男性	123	15.6%	17.8%	18.0%	17.7%
女性	57	5.6%	6.0%	5.9%	6.2%

【出典】KDB帳票 S21_001-地域の全体像の把握 令和4年 累計

② メタボ該当者数とメタボ予備群該当者数の経年推移

令和4年度におけるメタボ該当者数は394人で21.7%、メタボ予備群該当者は180人で9.9%という結果となっています。平成30年度との割合の差では、メタボ該当者は4.3%の増加、メタボ予備群該当者では1.2%減少しています。

図表3-6-3-2：メタボ該当者数・メタボ予備群該当者数の推移



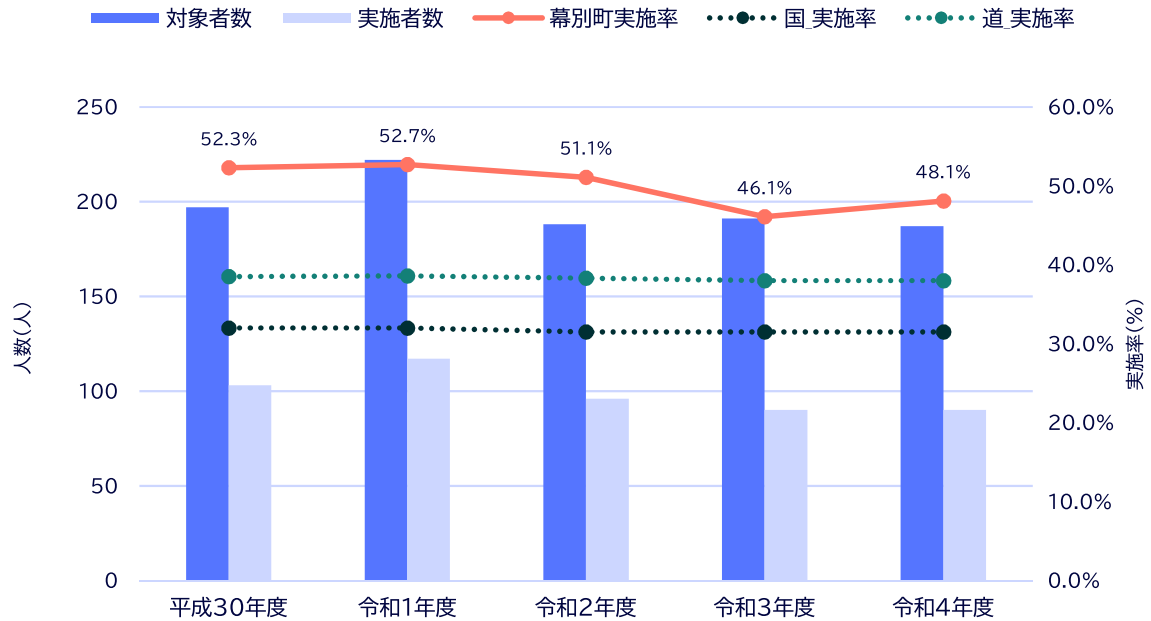
	平成30年度		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平成30年度と令和4年度の割合の差
	対象者（人）	割合	対象者（人）	割合	対象者（人）	割合	対象者（人）	割合	対象者（人）	割合	
メタボ該当者	320	17.4%	385	19.9%	470	24.0%	348	19.9%	394	21.7%	4.3
メタボ予備群該当者	205	11.1%	221	11.4%	173	8.8%	206	11.8%	180	9.9%	-1.2

【出典】KDB帳票 S21_001-地域の全体像の把握 平成30年度から令和4年 累計

(4) 特定保健指導実施率

令和4年度の実施率は48.1%であり、新型コロナウイルス感染症流行以前の50%代に近づきつつあります。該当者割合は10%前後で推移しており、横ばいで経過しています。

図表3-6-4-1：特定保健指導実施率（法定報告値）



		平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度と 令和4年度の差
特定健診受診者数（人）		1,838	1,936	1,960	1,747	1,881	43
特定保健指導対象者数（人）		197	222	188	191	187	-10
特定保健指導該当者割合		10.7%	11.5%	9.6%	10.9%	9.9%	-0.8
特定保健指導実施者数（人）		103	117	96	88	90	13
特定保健指導 実施率	幕別町	52.3%	52.7%	51.1%	46.1	48.1	-4.2
	国	28.9%	29.3%	27.9%	-	-	-
	道	34.8%	35.9%	33.8%	-	-	-

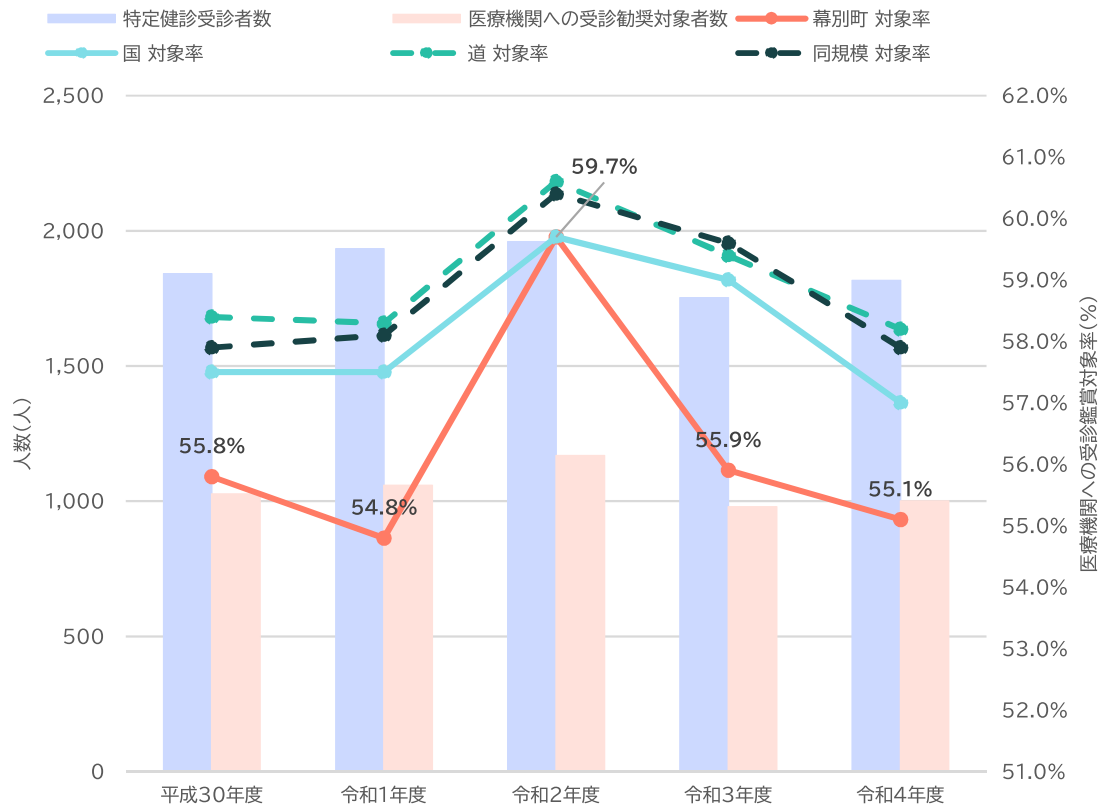
【出典】厚生労働省 2018年度から2021年度特定健診・特定保健指導実施状況（保険者別）

(5) 受診勧奨対象者

① 受診勧奨対象者割合の経年推移及び国・北海道・同規模との比較

令和4年度の受診勧奨対象者割合は55.1%と令和2年度の59.7%をピークに減少しています。全国と北海道、同規模保険者と比較しても低い割合となっています。平成30年度と比較すると0.7%減少しています。

図表3-6-5-1：特定健診受診者における医療機関への受診勧奨対象者の割合



		平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	平成30年度と令和4年度の差
特定健診受診者数 (人)		1,841	1,933	1,959	1,752	1,816	-
医療機関への受診勧奨対象者数 (人)		1,027	1,059	1,169	979	1,001	-
受診勧奨対象者率	幕別町	55.8%	54.8%	59.7%	55.9%	55.1%	-0.7
	国	57.5%	57.5%	59.7%	59.0%	57.0%	-0.5
	道	58.4%	58.3%	60.6%	59.4%	58.2%	-0.2
	同規模	57.9%	58.1%	60.4%	59.6%	57.9%	0.0

【出典】 KDB帳票 S21_001-地域の全体像の把握 平成30年度から令和4年 累計

② 受診勧奨対象者の項目別経年推移

受診勧奨対象者の血糖（HbA1c）項目は、平成30年度は8.1%であったのに対し、令和4年度10.2%と年々ゆるやかに増加しています。血圧項目は、平成30年度で23.4%、令和4年度は24.1%と横ばいで推移していることが分かります。脂質項目は、平成30年度が30.2%であったのに対し、令和4年度は26.7%と減少しています。また、特定健診受診者数が最も多い令和2年度で、血糖、血圧項目における受診勧奨対象者の割合が最も高い結果となっています。

図表3-6-5-2：特定健診受診者における受診勧奨対象者（血糖・血圧・脂質）の経年推移

		平成30年度		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		人数（人）	割合	人数（人）	割合	人数（人）	割合	人数（人）	割合	人数（人）	割合
特定健診受診者数		1,837	-	1,925	-	1,954	-	1,749	-	1,815	-
血糖 (HbA1c)	6.5%以上7.0%未満	71	3.9%	71	3.7%	103	5.3%	73	4.2%	95	5.2%
	7.0%以上8.0%未満	53	2.9%	74	3.8%	102	5.2%	56	3.2%	71	3.9%
	8.0%以上	25	1.4%	9	0.5%	33	1.7%	25	1.4%	19	1.0%
	合計	149	8.1%	154	8.0%	238	12.2%	154	8.8%	185	10.2%

		平成30年度		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		人数（人）	割合	人数（人）	割合	人数（人）	割合	人数（人）	割合	人数（人）	割合
特定健診受診者数		1,837	-	1,925	-	1,954	-	1,749	-	1,815	-
血圧	I度高血圧	335	18.2%	306	15.9%	388	19.9%	328	18.8%	344	19.0%
	II度高血圧	84	4.6%	82	4.3%	105	5.4%	76	4.3%	76	4.2%
	III度高血圧	11	0.6%	13	0.7%	17	0.9%	9	0.5%	17	0.9%
	合計	430	23.4%	401	20.8%	510	26.1%	413	23.6%	437	24.1%

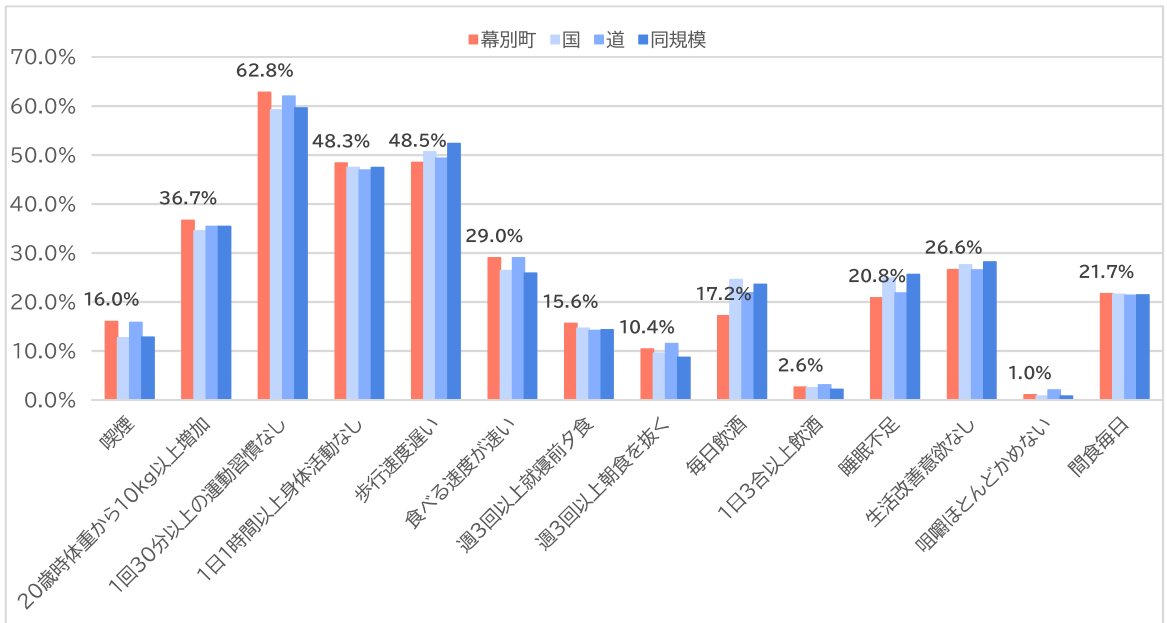
		平成30年度		令和1年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
		人数（人）	割合	人数（人）	割合	人数（人）	割合	人数（人）	割合	人数（人）	割合
特定健診受診者数		1,837	-	1,925	-	1,954	-	1,749	-	1,815	-
脂質 (LDL-C)	140mg/dL以上 160mg/dL未満	323	17.6%	318	16.5%	297	15.2%	303	17.3%	304	16.7%
	160mg/dL以上 180mg/dL未満	151	8.2%	170	8.8%	133	6.8%	129	7.4%	116	6.4%
	180mg/dL以上	80	4.4%	69	3.6%	76	3.9%	49	2.8%	65	3.6%
	合計	554	30.2%	557	28.9%	506	25.9%	481	27.5%	485	26.7%

【出典】KDB帳票 S21_008-健診の状況 平成30年度から令和4年 累計
KDB帳票 S26_005-保健指導対象者一覧（受診勧奨判定値の者） 平成30年度から令和4年度 累計

(6) 質問票の回答

質問項目別回答では、「喫煙」「20歳時体重から10kg以上増加」「1回30分以上の運動習慣なし」「1日1時間以上身体活動なし」「週3回以上就寝前に夕食を食べる」の項目で全国と北海道、同規模保険者を上回っています。「1回30分以上の運動習慣なし」が62.8%と、回答結果から受診者の約6割に運動習慣がないことが分かります。

図表3-6-6-1：特定健診受診者における質問票項目別回答者の割合



	喫煙	20歳時 体重から 10kg 以上増加	1回30分 以上の 運動習慣 なし	1日1時間 以上 身体活動 なし	歩行速度 遅い	食べる 速度が 速い	週3回 以上 就寝前 夕食	週3回 以上 朝食を 抜く	毎日 飲酒	1日3合 以上飲酒	睡眠不足	生活改善 意欲なし	咀嚼 ほとんど かめない	間食毎日
幕別町	16.0%	36.7%	62.8%	48.3%	48.5%	29.0%	15.6%	10.4%	17.2%	2.6%	20.8%	26.6%	1.0%	21.7%
国	12.7%	34.5%	59.2%	47.4%	50.6%	26.4%	14.7%	9.6%	24.6%	2.5%	24.9%	27.6%	0.8%	21.6%
道	15.8%	35.4%	62.0%	46.9%	49.3%	29.0%	14.2%	11.5%	21.9%	3.1%	21.9%	26.5%	2.0%	21.4%
同規模	12.8%	35.5%	59.6%	47.4%	52.3%	25.9%	14.3%	8.7%	23.6%	2.2%	25.6%	28.1%	0.8%	21.5%

【出典】KDB帳票 S25_001-質問票調査の経年比較 令和4年